

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 13日

都道府県知事
大野 元裕 殿



提出者
住 所 埼玉県深谷市幡町 1丁目 10 番地1
氏 名 (株) LIXIL サンウエーブ製作所深谷工場
工場長 北岡 淳児
電話番号 048-572-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

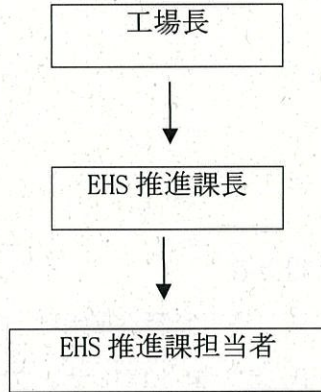
事業場の名称	(株)LIXIL サンウエーブ製作所深谷工場
事業場の所在地	埼玉県深谷市幡羅町1丁目10番地1
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	家具・装備品製造業 金属製品製造業
②事業の規模	敷地面積 155,400 m ² 建物面積 63,200 m ² 生産能力 72,000 キヤビ/月
③従業員数	738名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	木くず→破砕（委託）→固形燃料（委託） 廃プラ→破砕・圧縮（委託）→固形燃料・建材（委託） 汚泥→脱水・焼却（委託）→路盤材（委託） 廃油→油水分離（委託）→中和・焼却（委託） 混合物→破砕（委託）→焼却・溶融（委託） その他→破砕・選別（委託）→焼却（委託） 一般廃棄物→焼却（委託）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	※別紙1の通り
	排出量	5,600 t
	(これまでに実施した取組) 分別を強化し有価買取分を増やし産廃の排出量を削減する	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	※別紙1の通り
	排出量	5,544 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、産廃量の減量化に向け分別回収を進める。 クローズドリサイクルを進め循環型の社会へ貢献する	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別表示を解りやすく目で見えてわかるように表示する 回収場所の巡視
-----	--------------------------------------------------------------------

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別をさらに細かくできるように、社内報などでアピールを続ける
-----	-----------------------------------------------------------------

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t

	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙2を参照	
	全処理委託量	5,600 t	t
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	821 t	t
	再生利用者へ の 処理委託量	4,779 t	t

		認定熱回収業者への処理委託量	22 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>収集運搬から最終処分に至るまで、全て委託しているため、各業者の選定の際には社内規定に従い厳密の選定している</p>				

(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	※別紙2を参照		
	全処理委託量	5,544 t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	813 t	t	
	再生利用業者への処理委託量	4,731 t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	22 t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>全ての業者への現地確認を実施し不具合が無いか確認する (優良企業含む)</p>			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

